

AU 代表部経済月報(2022 年 12 月)

アフリカ全般(日付順)

- 東アフリカ通貨統合(EAMU)の実施を当初の 2024 年から 2031 年まで延期することを提案。(3 日、The East African)
- AU、アフリカ開発銀行(AfDB)、国連工業開発機関(UNIDO)は、2010 年から 2021 年の間、調査対象となったアフリカ 52 カ国のうち 37 カ国の工業化が進んでいることを明らかにした。ただし、新型コロナウイルス感染拡大とロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、2020 年から 2021 年の間に AII (アフリカ工業化指数)全体の平均値は 1.7%減少している。(5 日、JETRO)
- 2022 年の西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)の成長率は 5.7%。(6 日、Africa News)
- ロシアのウクライナ侵攻によって深まった世界の肥料供給ショックは、北アフリカのリン鉱石大国モロッコに好況をもたらし、モロッコは新たな外交資本を獲得した。(6 日、Nation Africa)
- ニジェールのモハメド・バズム大統領は、西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)の議長国に任命された。(6 日、AA)
- 米国、エリトリアとソマリランドをアフリカサミットから除外することを確認した。(7 日、VOA)
- 英国は、アフリカの発展途上国のプロジェクトに 6 億 5000 万ポンドを提供。(7 日、Gov UK)
- ECA、中国とのリーダーシップと地政学的関与の重要性を強調。(7 日、ECA 事務局)
- 中国は、ナイジェリアのアブジャにある西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の本部を、3200 万米ドルで建設し始める予定。(9 日、The East African)
- 米バイデン政権が G20 に AU をアフリカ 55 か国の代表として永久加盟することを支持すると公式に表明(現在、アフリカからは南ア 1 개국だけのため)。(9 日、The Washington Post)
- 中国は近年、発展途上国において、習近平国家主席の「21 世紀海上シルクロード」と呼ばれる、インフラ整備を目的とした「一帯一路構想」の一環として、数多くの港湾、橋梁、その他の沿岸プロジェクトで建をしてきた。しかし、いくつかのプロジェクトは発展途上国の貿易能力を高めるのに役立つ一方で、中国の沿岸インフラには環境上のマイナス面があることが明らかになった。最も悪影響を受ける地域のひとつはアフリカで、カリブ海諸島諸国の海洋生息地に高いリスクを抱えている。(10 日、VOA)
- 南アフリカのシンクタンク、Institute for Security Studies によると、主に中国船による違法漁業で、漁業コミュニティは毎年 20 億米ドル以上の損失を被っている可能性があるとのこと。(9 日、VOA)
- Visa は、電子決済ブームに乗じるため、5 年間でアフリカに 10 億米ドルを投資する予定。(14 日、reuters)
- マイクロソフトは、発展途上国とのデジタルデバイドを埋める努力の一環として、アフリカの 1000 万人を対象に衛星経由でインターネットアクセスを提供する計画を発表。(14 日、VOA)
- 中央アフリカ経済共同体の 6 개국(カメルーン、コンゴ、ガボン、チャド、CAR(中央アフリカ)、赤道ギニア)において、BEAC(中央アフリカ諸国銀行)は 12 月 15 日から新紙幣の流通を開始。(12 日、Africa News)
- AU と EU は、デジタル・ヘルス協力を強化。(19 日、Africa Union)

アフリカ各国(日付順)

- エジプト、21 の海水淡水化プラントを建設。(1 日、REUTERS)
- マダガスカル、初の高速道路工事を開始。エジプト企業のサムクリート社が、4 年間で約 10 億米ドルの予算でこのプロジェクトを担当する予定。(5 日、Africa News)
- エジプト、ピラミッドを現代のポップコンサートやファッションショーの背景として利用し、そのイメージアップと観光、富裕層のエリートが愛する高級ブランド部門の強化を図っている。(6 日 VOA)

- ウガンダ、家庭用スマートフォンの無料配布で技術革命の後押しを目指す。(6日、The East African)
- アルジェリア、中国と一帯一路構想の実行計画に署名。(6日、Middle East Monitor。)
- ナイジェリア、現金引き出しを週 225 米ドルに制限。(7日、Aljazeera)
- ウガンダ、1200 回分のエボラ出血熱試験ワクチンを受領。(8日、The East African)
- コートジボワール、地下鉄プロジェクトの建設を開始。(20日、Africa News)

保健(日付順)

- アフリカに 5 万回分の M 痘ワクチン到着へ、韓国から提供開始。(2日、JETRO)
- COVID-19 のワクチン接種率の計算方法が変わり、母数をターゲット層に絞り込んだ結果、アフリカ大陸全体で接種率が 44%とのこと。いずれにせよ、目標 70%には届かない現状(Bingwa Initiative という若者層のネットワークを活用したワクチンキャンペーンを大規模開催中)。(8日、アフリカ CDC ブリーフィング)。
- コレラ大流行についてマラウイ大統領が公衆衛生危機宣言を 12 月 5 日に発令(8日、アフリカ CDC ブリーフィング)。

以上